

Shin Club 26

㈱辰 通信 Vol.26

2002年5月

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f

Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

今月のトーク 「インターネットと家づくり」

今月は、「明るいコートハウスを作りたいかった」というTさんの家作りのご紹介です。

Tさんのお宅のある新百合ヶ丘は、整然とした町並みの住宅街。Tさん宅の敷地は北側が道路に面しています。設計を担当した石井さんは、この北側道路という点に着目しました。普通北側というと、トイレ、台所、と不整合な面になりがちですが、明るい町並みの雰囲気をこわすことなく、健康的な表情を家に持たせるため、南側にバスを持ってきました。より暖かく開放的な南のバスの方が高齢の父君のためにも快適です。真っ白な外壁にはアルミの水切りパネルがアトランダムに設けられ、アミダ状の格子模様が生み出します。それだけではなく2階中央部分に通路デッキを設け、道路側に対して閉鎖的にならないよう、南北方向に切れ目を入れることで光が差し込む効果をねらいました。南方向には数区画先にテニスコートがあり、途中の家々も境界線にあたるため、テニスコートの緑まで目にする事ができます。

そもそものきっかけは、Tさんがインターネットで『本気で家を建てる人』のためのホームページ』を主宰する高野さんに仕事を依頼したことから。Tさんは、大学の生物の先生です。「建物は環境に配慮したものを扱うことが大切だ」ということについてはよくご存知です。やはり教育関係の仕事に長く携わり、現在も積極的に行動されている父君との二人暮らし。3、4案と紆余曲折を経て、鉄骨造で行くことに決定しました。高野さんは構造が専門なので、途中から石井さんにデザイン部分を依頼、「なるべくシンプルに」というTさんの希望をベースに、シャープでモダンな内装ができあがりました。

1階玄関のドアをあけると、すぐそこが大きなリビングダイニング。グラウンドレベルが75cmほど高くなっているため右側の階段を少し上がって、中へ入ります。「広い空間がいきなり目に飛び込んでくるよりも、下がった位置でエリア分けをするのも面白い」と石井さん。それでも視覚を一旦遮るために、透明なスクリーンカーテンを設けました。2枚重なるもモアレが出てきれいです。リビングの床は無垢のヒノキ。オスモカラーを塗布し、においもありません。外の広幅のデッキはシ

ダー。壁は最初漆喰をご希望でしたが、コストの関係で水溶性ペンキにしました。システムキッチンの特注で、業務用の火力の強いコンロを設置。家電をインターネットで購入されることもあるTさん、ダイニングには「楽天」で購入されたという大きな業務用冷蔵庫がありました。

Tさんは建築雑誌も数多く読み、インターネットでメーカーのページにもアクセスするなど、研究熱心な方です。家具や雑貨だけでなく、建材や設備についても、新宿のOZONEを訪れたり、モデルルームに行ったりして、直接現物を確認されるなど、自分で納得が行くまで設計者と相談します。設計の高野さん、石井さんもTさんの希望に合ったものを探してきます。例えば外壁は、Tさんの第一希望が『新建築』で見た、東北大学の施設に採用されたカーテンのように薄いスチールメッシュ』ということでしたが、コスト面などから変更になったため、最終案については石井さんが実際に模型を作ってTさんにも確認いただき、決定しました。インターネットでさまざまな情報が入手できる時代になりましたが、「やはり実際に見ると大違い」とTさん。確認することを忘れてはならないようです。

冷暖房についても、いろいろな設備を検討しました。ある輻射冷暖房の設備ではコスト面では折り合いがつかなかったものの、「輻射冷暖房はいい」と気に入ったTさんのために、高野さんは「森永エンジニアリング」の「サーモパネル」を見つけてきました。これなら予算に見合います。冷房は、速効性のあるエアコンがTさんのニーズに合ったようです。

1階西側には、父君の和室があります。水屋、炉が設けられている茶室でもありますが、アルミチャンネルの長押、シナ合板の細い床柱と、モダンで画期的なデザインです。「床柱は本来、自然にそこにある、飾らないものを使うべきであると干利休は説いている。立派な銘木をどこからか持ってくるよりもその精神を引き継ぎたいと思った。」と石井さん。父君は若い人たちが作った新しいアイデアにのることをむしろ楽しまれている様子でした。2階はTさんの部屋と、通路をはさんで、離れがあります。離れには、3年前に他界された母君の日本画が飾られる予定です。



川崎市麻生区
構造設計:高野明美
(タカノ一級建築士事務所)
デザイン:石井大(+・TASTEN)



1階リビング



1階ダイニング



1階茶室



2階 離れ



2階通路デッキ(北側を臨む)



一段低い玄関と2階への階段

TOPICS

「石井ビル 地鎮祭」 (3月29日) 中央区

日本橋のオーナービルの新築工事です。RC造、地上5階
設計施工:辰



「トモエ算盤 地鎮祭」 (4月15日) 新宿区

鉄骨造、地上3階、事務所ビルです。設計:高山勝樹(株式会社開地総合企画) 完成予定:2002年8月



「国分寺 K1ビル 地鎮祭」 (4月17日) 国分寺市

RC造、地上6階 店舗+共同住宅ビルです。設計:多田誠(多田建築計画) 完成予定:2002年12月



「K-house 上棟式」 (3月30日) 世田谷区

木造、地上2階 設計:鈴木孝紀(株式会社ハル建築研究所) 完成予定:2002年9月



「オプティカルブティック 地鎮祭」 (4月15日) 港区

外苑通りに面した鉄骨造、地上3階の店舗ビルです。監修:サイトウマコトデザイン室 設計:バルフィ・ジョージ(バルフィ総合建築計画事務所) 完成予定:2002年9月



「ボンナ・カストラ リニューアルオープン」 (5月7日) 中央区

築地のチーズフォンデュのお店の3期に亘る改修工事がようやく終わり、GWに新しいお店として、グランドオープンしました。お客様のために営業を続けながらのお店の拡張工事は、オーナーの心遣いの賜物です。写真は来月号をお楽しみに。

WHAT'S NEW

~ from this month s magazine ~

「男の隠れ家」 2002年6月号

「Modern Housing 夢の家を造る」というテーマで、弊社施工の「a/ha邸」が掲載されています。「20年間をふたりで楽しむためのオフィスとスタジオのあるリッチな空間」です。

「商店建築」 2002年4月号

「トランスビル ダブルハニカムの皮膜を持つオフィス&ギャラリー」として、弊社施工の恵比寿の「トランスギャラリー」(Vol.24でご紹介)が掲載されています。設計の武松幸治氏の「環境変換装置としての建築」、また企画のシー・ユー・チェン氏との「リトリート」についての話も興味深いものです。



INFORMATION

「ENERGY OF SPACE展」 シー・ユー・チェン+武松幸治(EPA)

期間:4月23日(火)~5月18日(土) 10:00~20:00 <休:日、月、祝日>
場所:恵比寿 トランスギャラリー(恵比寿西口より徒歩5分、防衛庁技術研究所前)

企画:シーユー・チェン氏&設計:武松氏の「リトリート」プロジェクトを中心とした、建築プロジェクトの軌跡をたどるインスタレーション。弊社施工のトランスビルもぜひご覧ください。



盛況だった
オープニングパーティ